



平成 30 年 2 月 20 日

各 位

会 社 名 日 本 電 通 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 上 敏 郎
コ ー ド 番 号 1931 東 京 証 券 取 引 所 第 2 部
問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員 岩 井 淳 文
(T E L) 0 6 - 6 5 7 7 - 4 1 1 1

新規事業の開始に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 2 月 20 日開催の取締役会において、新規事業を開始することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨

国内において少子高齢化に伴う労働人口の減少や働き方改革が叫ばれる中、AI を活用した IT ソリューションのニーズは今後さらに拡大するものと予測されます。当社グループでは、昨年より AI を活用したチャットボット製品(CB1, CB2)の開発・販売を開始しており、急激な変化が予想される AI 市場において、AI を中心とした先進技術の応用研究と、その利用技術のコンサルティングおよび関連ソリューションの提供を目的とした「AI ソリューションサービス事業」を開始いたします。

当事業は、主として、先進技術の活用が出遅れがちである中堅中小企業向けに展開いたします。また、基幹系、情報系、RPA ソリューション等を提供する各ベンダーとの協業を進めることにより、一層のソリューション連携とさらなる AI の有効活用を実践するための研究・検証を行い、製品・サービスの提供を行ってまいります。更に、当社グループ販社と一体となって提案販売を進める一方、中期的には他販売会社とのパートナーシップも視野に入れてまいります。

この新規事業は、3年後に約 30 億円規模の関連ビジネスをめざし、当社グループの中長期的な収益性向上の基盤のひとつとし、一層の企業価値向上に務めて参ります。

2. 新規事業の概要

(1) 事業名称

AI ソリューションサービス事業

(2) 新たな事業の内容

AI を中心とした先端技術の応用研究と、その利用技術に関する製品・サービスの提供

3. 日程

(1) 取締役会決議日：平成 30 年 2 月 20 日

(2) 事業開始期日：平成 30 年 3 月中旬（予定）

4. 今後の見通し

当期(平成 30 年 3 月期)は、本格的な事業展開のための準備期間と位置づけており、本件における当期業績への影響については軽微であると考えております。

以上

AI を中心とした先進技術の応用研究と利用技術のコンサルティングを提供する「AI ソリューションサービス事業」を開始いたします

日本電通株式会社(本社：大阪府大阪市、代表取締役会長兼社長：上 敏郎)は、AI を中心とした先進技術の応用研究・利用技術のコンサルティング、および関連ソリューションを提供する「AI ソリューションサービス事業」を開始します。本事業は、日本電通グループ※一体となり、中期的な収益性向上の基盤のひとつとし、さらなる企業価値の向上を目的として 2018 年 3 月中旬（予定）より活動を開始いたします。

* 「日本電通グループ」

日本電通株式会社	(本社：大阪府大阪市、代表取締役会長兼社長：上 敏郎)
NDI ソリューションズ株式会社	(本社：東京都品川区、代表取締役社長：岩井 淳文)
NNC 株式会社	(本社：新潟県新潟市、代表取締役社長：仁司 宏一)
四国システム開発株式会社	(本社：徳島県徳島市、代表取締役社長：日下 修伸)

「AI ソリューションサービス事業」開始の背景

国内において少子高齢化に伴う労働人口の減少や働き方改革が叫ばれる中、不足している労働力の補完策、あるいは労働力の省力化を実現する策として、ビジネス現場での AI 市場は今後さらに拡大が予測されます。

日本電通グループにおきましては、2017 年より IBM Watson を活用した AI チャットボット製品「CB シリーズ」<図 1>の開発・販売を開始し、ビジネスが軌道に乗りつつあり、さらに 1 年間の販売活動を通じて様々な知見を集積しています。

このような背景のもと、日本電通はグループ一体となり、AI を中心とした先進技術の応用研究と、その利用技術のコンサルティングおよび関連ソリューションの提供を目的とした「AI ソリューションサービス事業」を開始いたします。

尚、本事業は、先進技術の適用が出遅れがちな中堅・中小企業を主たる対象として活動します。

<図 1> チャットボット製品 CB シリーズ (CB1/CB2)

製品ページ https://www.ndisol.jp/solutions/advanced_technology/cb.html

	CB1 Chatbot solution	CB2 Chatbot solution
会話パターン	1問1答 (低確信度時は単純な対応を返すのみ)	① 気配りのある1問1答 A) 低確信度時の聞き返し B) 低確信度時の複数候補提示 C) 質問カテゴリ提示 ② 対話形式の質問絞り込み
Watson API	NLC ※	NLC ※ + Conversation
連携	基幹システム連携 (検索・照会)	基幹システム/RPA連携 (検索・入力・更新)

※ NLC : Natural Language Classifier (自然言語分類)

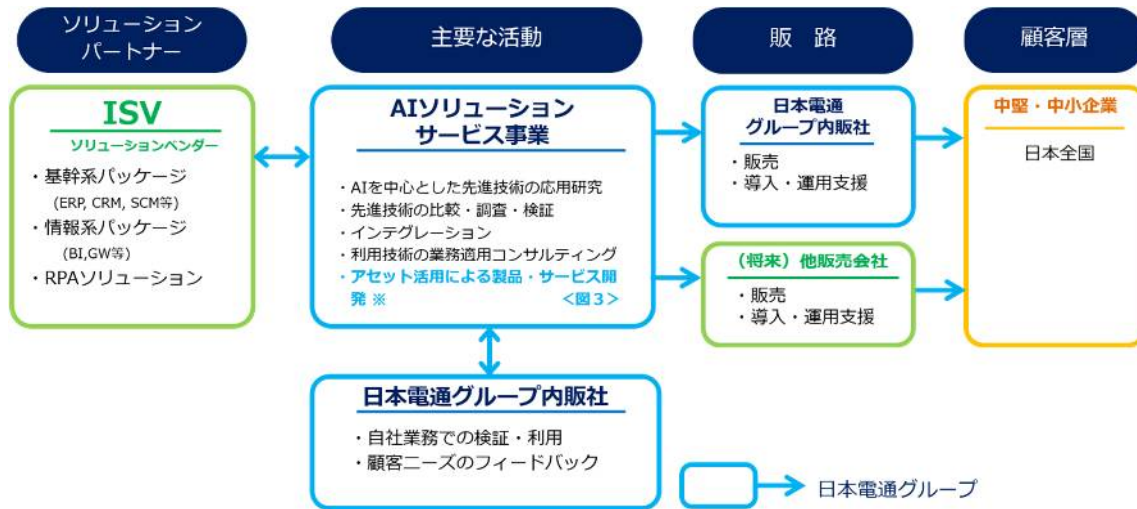
「AI ソリューションサービス事業」概要

新規事業名	AI ソリューションサービス事業
事業開始期日	2018 年 3 月中旬 (予定)
新規事業概要	<ul style="list-style-type: none"> AI を中心とした先進技術の応用研究 AI 利用技術のコンサルティング 関連ソリューションの提供
提案・販売層	主に中堅・中小企業

「AI ソリューションサービス事業」 ビジネスモデル

AI を中心とした先進技術の応用研究と利用技術のコンサルティング、及びそれらを活用した関連ソリューションを中堅・中小企業に提供いたします。詳細は<図2>の参照をお願いいたします。

<図2> 「AI ソリューションサービス事業」のビジネスモデル



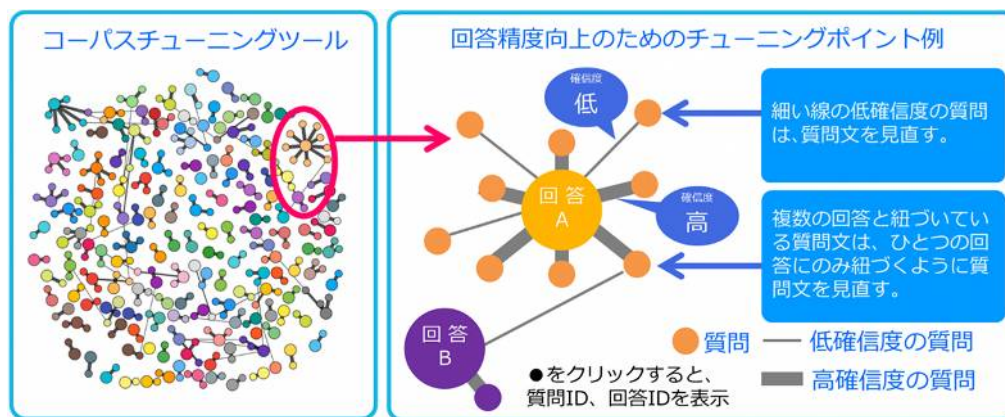
※ 「アセット活用による製品・サービス開発」 例

コーパス精度可視化ツールの特許取得 (取得日 2017年12月19日)

集積した知見の成果のひとつとして、学習データ内の QA 相関関係を可視化し、チューニングポイントを特定する機能をもった「コーパス精度可視化ツール」の特許を取得しました。

(コーパス → AI用の学習データ)

<図3> コーパス精度可視化ツール



日本電通グループの提供する価値

「AI ソリューションサービス事業」開始において、下図<図4>を特色と位置付けております。

<図4> 日本電通グループの提供する価値

